

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県大垣市 東外側駐車場

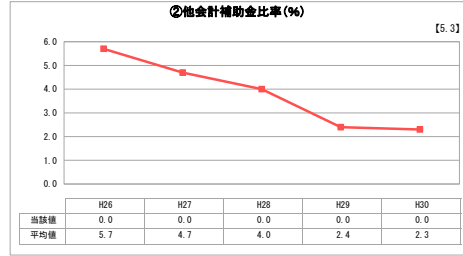
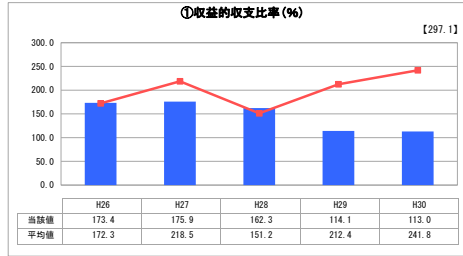
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	25	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	5,471
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
200	200	導入なし

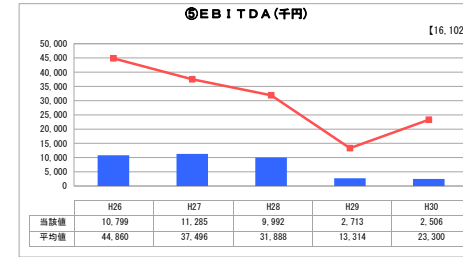
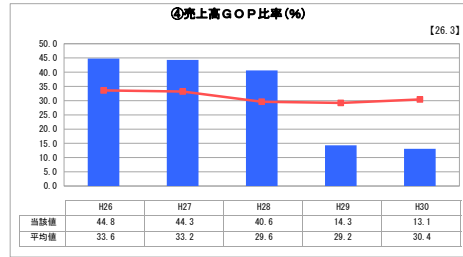
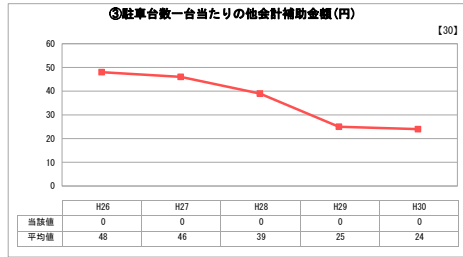
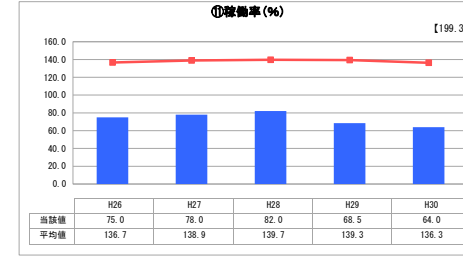
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- [] 平成30年度全国平均

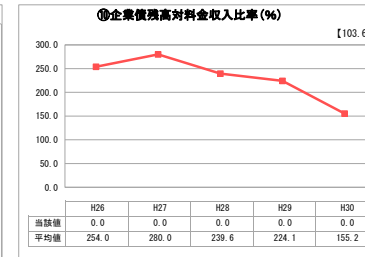
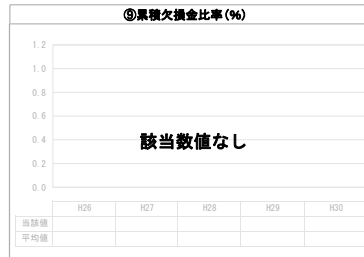
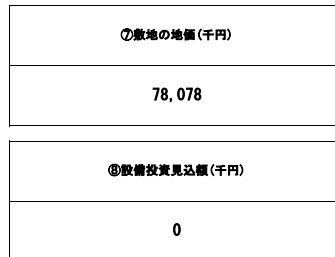
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

平成25年度で地方債の償還が終了したため、平成26年度以降比較的収支比率は良くなっている。ただし、近年周辺には安価なコインパーキングや月極駐車場が増加しており収入は減少傾向にある。よって「収益的収支比率」「売上高GOP比率」「EBITDA」すべての数値が下降傾向にある。

2. 資産等の状況について

東外側駐車場は、平成25年度建設で比較的新しい駐車場である。今後駐車場整備計画の見直しを予定しているため、設備投資見込み額については不明としています。

3. 利用の状況について

収容台数200台という比較的大規模な駐車場であるため、稼働率としては平均を下回っているが、毎年安定した収入を確保できている。駅から徒歩圏内という立地条件もあり、今後も需要は見込まれる。

全体総括

東外側駐車場は、施設が新しく、地方債の償還も終了している。また駅にも近い大規模な公共駐車場として今後も需要は見込まれるため、収入は減少傾向にあるとはいえず当面は赤字を保ち安定した状態を継続できる見込みである。

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県大垣市 清水駐車場

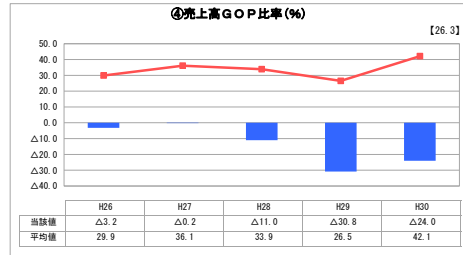
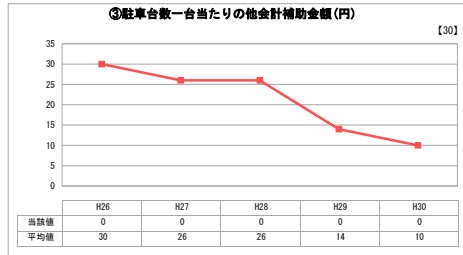
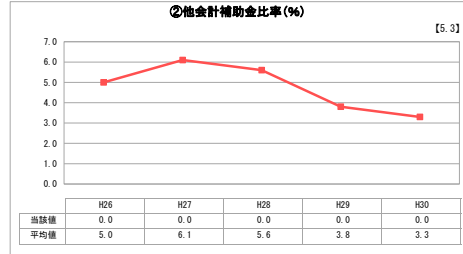
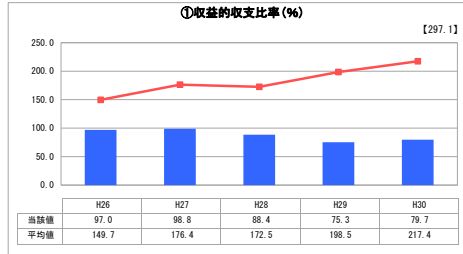
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種別	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	42	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
商業施設	有	5,259
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
230	200	導入なし

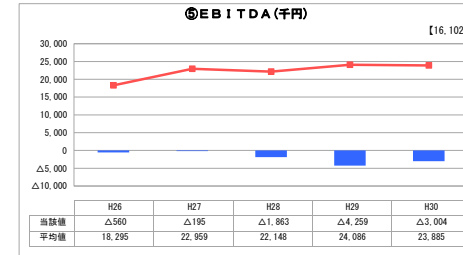
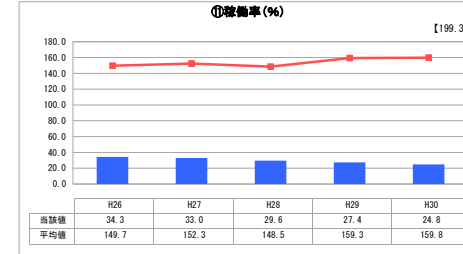
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 平成30年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

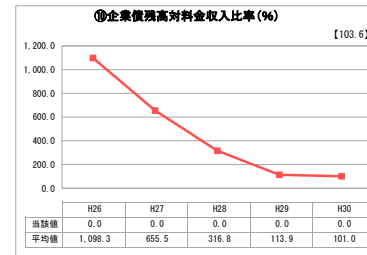
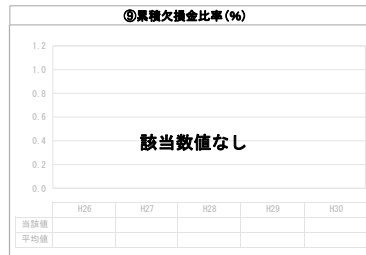


⑦敷地の地価(千円)

160,427

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について

駅からやや遠いという立地条件もあり、年々利用者が減少しており、当駐車場の収益だけで維持管理費を賄っていない状況である。平成26年度から自動料金精算機をリース契約に切替えたため、売上高GOP比率はマイナスの状態がつづいている。一般会計からの繰入はないが、他の駐車場の収益で補っている状況が続いている。

2. 資産等の状況について

清水駐車場は昭和52年建設で、耐用年数を経過し老朽化がかなり進んでいる。今後、駐車場整備計画の見直しを予定しているため設備投資見込み額については不明としています。

3. 利用の状況について

駅から少し遠いという立地条件や、周辺にコインパーキング等が増えていることもあり、年々利用者数は減少している。ただし、まつり等のイベント時には、収容台数230台が満車になる。

全体概括

建設後40年を越え、施設の全面改修が迫られている状況である。今後も大幅な利用者の増加も見込まれない中、市全体の駐車場整備計画を見直す中において合理的な駐車場運営を目指し、今後のあり方について検討中である。

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県大垣市 丸の内駐車場

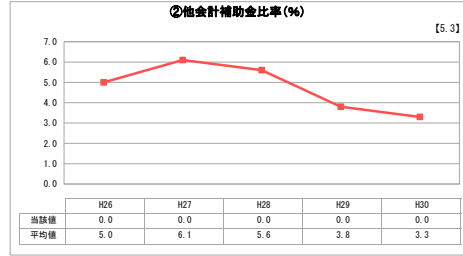
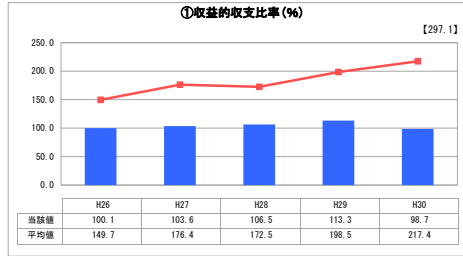
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	44	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
公共施設	有	6,233
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
251	200	導入なし

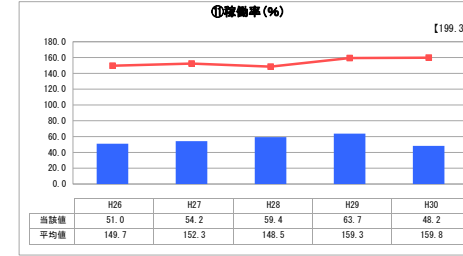
グラフ凡例

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

丸の内駐車場は、市役所に隣接する駐車場に駐車場の事務所を設置しており、他の駐車場に振り分けるとの出来ない負担金や基金への積立金などの費用を計上している。上記理由もあり、収支状況としては収入と支出がほぼ同額の状況で推移している。また一般会計からの繰入も行っていない。

2. 資産等の状況について

丸の内駐車場は昭和50年に建設しており、耐用年数も経過し老朽化も進んでいる。今後駐車場整備計画の見直しを予定しているため、設備投資見込額については不明としています。

3. 利用の状況について

収容台数が、251台の大規模駐車場であるため稼働率は平均を下回っている。定期利用が中心で、中心市街地のイベント開催時等に一般利用が増加する状況である。

全体概括

建設後40年を越え、施設の老朽化が進んでいる駐車場である。現在市の新庁舎も完成し、今後のあり方を検討する必要がある駐車場であり、全体の駐車場整備計画を見直す中において検討中である。

2. 資産等の状況

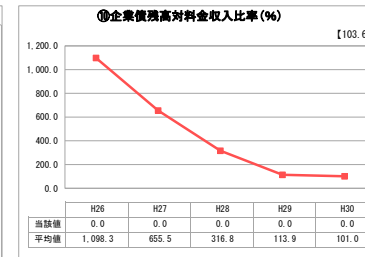


⑦敷地の地価(千円)

151,749

⑧設備投資見込額(千円)

0



経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県大垣市 駅南駐車場

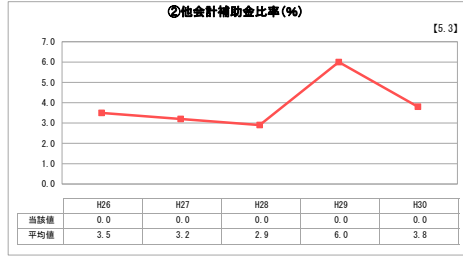
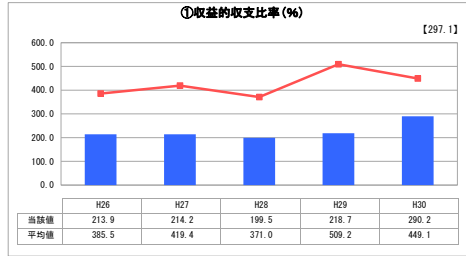
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種別	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	31	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
商業施設	有	443
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
17	300	導入なし

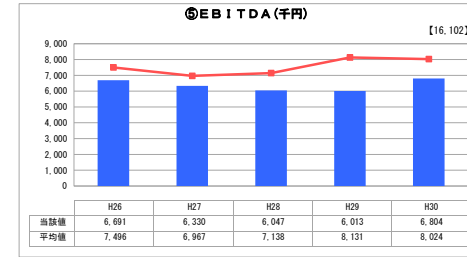
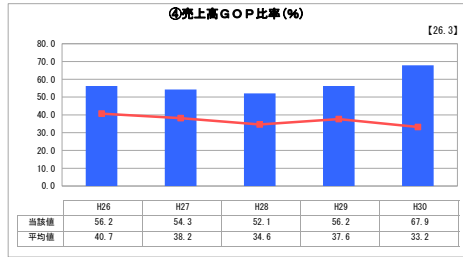
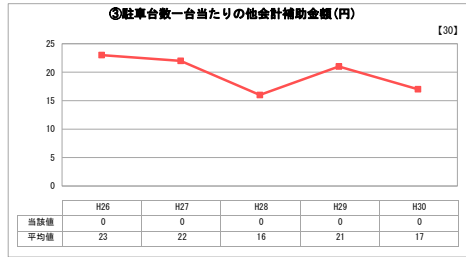
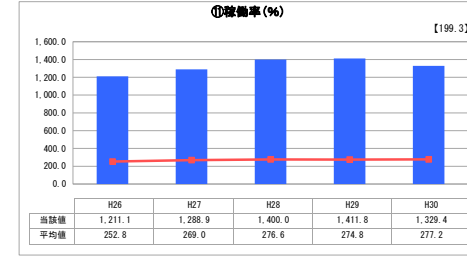
グラフ凡例

- 当該施設(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- [] 平成30年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

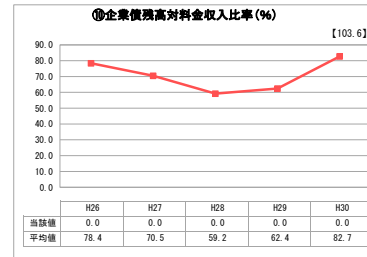


⑦敷地の地価(千円)

42,174

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について

収容台数が17台の大垣駅に隣接する駐車場である。広場式の駐車場であるため維持管理費は少なく、収益性は高いが、20分以内無料であり、短時間の利用が多いため稼働率は平均を大きく上回っているが、収支比率は平均を下回っている。駅周辺には1日料金設定を設けたコインパーキングが増加しており、収入は下降傾向にある。

2. 資産等の状況について

広場式で、自動料金精算機もリース契約であるため駅南駐車場の資産は土地のみである。今後、駐車場整備計画の見直しを予定しているため設備投資見込額については不明としています。

3. 利用の状況について

大垣駅に隣接していることと、20分以内無料であることから利用者数は多く、稼働率は平均を大きく上回っている。

全体概括

大垣駅に隣接しており、収容台数は少ないが需要の高い駐車場である。また広場式であるため、維持管理コストも低く収益性の高い駐車場である。引き続き利用者サービスの向上に努めていくことで収入増を目指していきたい。

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県大垣市 駅北駐車場

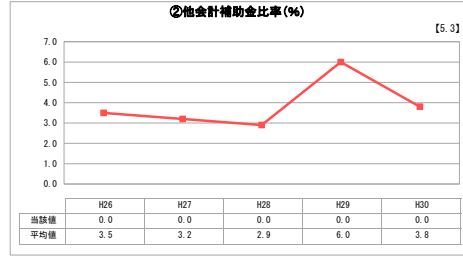
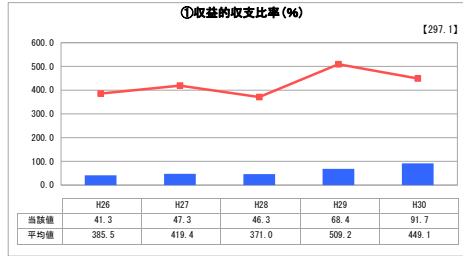
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	償還	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	6	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	387
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
13	300	導入なし

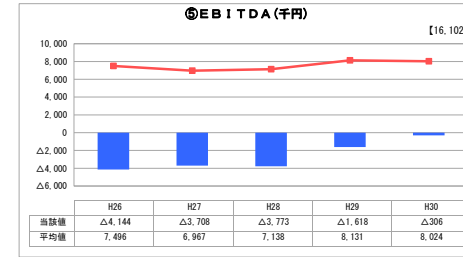
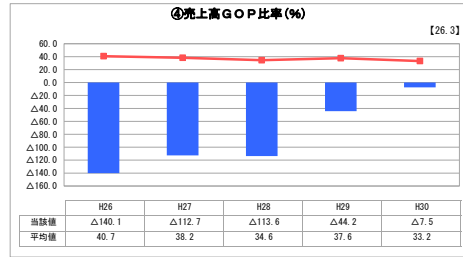
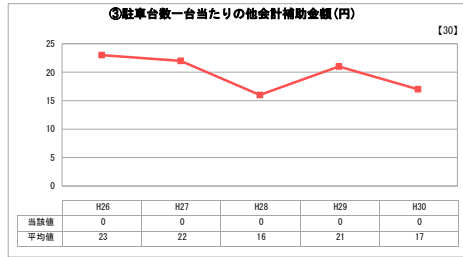
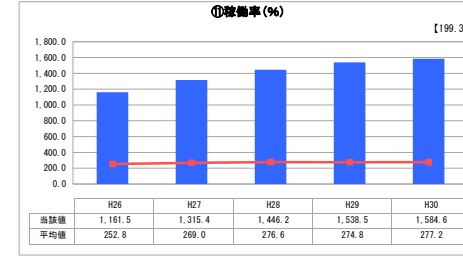
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

駅北駐車場は、平成24年に大垣駅北口広場整備の完了に合わせて供用開始した広場式駐車場であるが、駅に送迎するための20分以内の無料駐車がほとんどで、当該駐車場の収入で維持管理費が賅えておらず、他の駐車場の収益で補っている状況である。

2. 資産等の状況について

広場式で自動料金精算機もリース契約であるため、駅北駐車場の資産は土地のみである。今後、駐車場整備計画の見直しを予定しているため、設備投資見込額については不明としています。

3. 利用の状況について

大垣駅に隣接している駐車場であるため、利用者は多く稼働率はかなり高いが、ほとんど20分以内の無料駐車の利用であるため、収益に反映されない。

全体概括

駅北駐車場は、駅利用者の送迎用として整備された駐車場であり、稼働率が高く需要度の高い駐車場であるため、引き続きサービスの向上に努めていきたい。

2. 資産等の状況

